

群馬県中学校長会

会誌



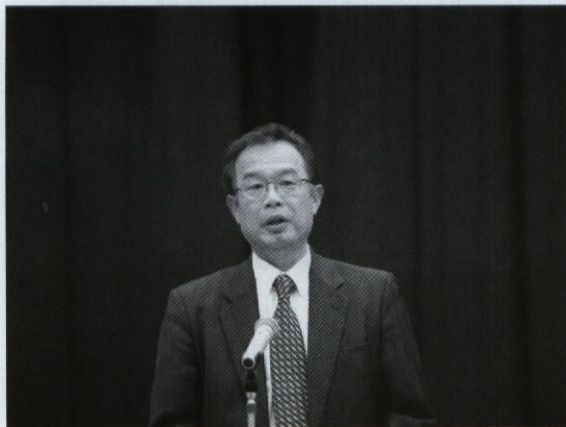
No.48 2011(平成22年度)

◇◇◇ 平成22年度・群馬県中学校長会のあゆみ ◇◇◇

第37回群馬県中学校長会全体研究協議会



全体協議会の様子



会長挨拶（生方会長）



教育長講話（福島教育長）



講演（岩瀬前全日中会長）



分科会の様子

未来を切り拓く豊かな
人間性と創造性を備えた
日本人を育てる中学校教育



「広島平和記念公園における平和祈念集会」
(渋川市・渋川中)



「初めてのカタター訓練」
(伊勢崎市・第四中)



「農業振興会と連携したタマネギづくり」
(富岡市・北中)



「地域の人から学ぶひも工芸」
(沼田市・沼田西中)



「団対抗戦・棒倒し」
(みどり市・大間々中)



巻頭言

「人は人なか、木は木なか」

会長 生 方 徳 光

平成六年から実家（沼田）のわずかばかりの山林を経営することになりました。山林経営については、全くの素人で中学三年生の夏休みに数日間父と一緒に杉林の下草刈りの経験があるだけでした。真夏の太陽の下、大きな下草刈り用の鎌で草を刈ることは今までに経験したことのない重労働でしたが、下草を刈り取った後の杉林のすがすがしさと吹き渡る風の気持ち良さが今でも思い出されます。労働の後の汗のさわやかさをちょっぴり感じ、少し大人に近づいたように思いました。その杉は、現在約五十年の年輪を刻んでおり、その山に行くたびに下草刈りをした中学校時代が懐かしく思い出されます。

山林経営については知識や経験がほとんどなく草刈機やチェーンソーなどの取扱いも全く分からない状態でした。山林経営をしている近所の人に草刈機等の取扱いや山林経営の基礎について教えてもらい、勤務の合間を縫って見よう見まねで山林経営を始めました。

平成六年から平成九年の三カ年で檜を約七百五十本植林しました。三月に草刈機やチェーンソーで雑木を切り払い整地し、五月に檜を一本一本丁寧に（鍬で穴を広く深く掘り、葉っぱやゴミが穴に入らないように植える。）に植林しました。平成六年にどうにかこうにか植林した檜も夏のきびしい暑さや冬の積雪に耐え一年一年年輪を刻み、今では太さが約直径十センチメートル、樹高が約五メートルに生長しています。木々の先端は、互いに競い合い、太陽に向かって一生懸命伸びています。その様子を見るたびに檜の生命力の素晴らしさを感じています。

植林から五年間は、夏の暑い中下草刈りやつる切りを行い檜の生長を手助けしました。少し自慢できることは、今までに枯れた檜は二本しかないことです。檜のより良い生長を願って平成十年度には個々の生長に合わせて枝打ちを行いました。

今までの山林経営（植林、下草刈り、枝打ち、除伐等）を通して、木を育てることは、教育活動にも合い通じる所が多々あると感じています。特に除伐をするときは、今まで育ててきた木に愛着が沸きなかなか切ることができません。しかし、除伐をしないとその山全体の死活問題になり、涙を飲んで切ることになっています。

山林経営をするようになって、住宅や材木にも興味関心がわき山形県金山町の金山住宅や金山杉を現地見学したり山林経営に関係する本にも目を通すようになってきました。時間があれば屋久島に行き樹齢数千年の屋久島杉を見たいと思っている今日この頃です。

先日、本を読んでいて「人は人なか・木は木なか」という言葉が眼につきました。樹齢何千年の屋久島杉も、針葉樹、広葉樹混合の木の中で、適当な温度、湿度、防風などの自然の調和の中で育つそうです。まわりが切り倒され周囲のハーモニーが破壊されると、一本立ち、二本立ちの木はやがて枯れてしまうそうです。木は木の中であってこそ生き育ちます。人もまた然りです。年齢の異なる人、考え方の違う人、性別の異なる人など多彩な人々と係わる自分が大きたくましく豊かにしていきます。

教育について、今はいろいろな難しい考え方もありますが、「人は人なか」のように人と人との交わりの大切さについて改めて考えてみることも必要ではないでしょうか。

目次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 会長 生方 徳光・・・・・・ 1

県中学校長会の一年の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 書記・・・・・・・・・・ 4

総会ならびに研究協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 書記・・・・・・・・・・ 8

第6 2回関東甲信越地区中学校長会研究協議会栃木大会・・・・・・ 会計 鹿沼 初男・・・・・・ 12

・第5分科会提案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ みなかみ・月夜野中 高橋 幹・・・・・・ 16

第6 1回全日本中学校長会研究協議会高知大会・・・・・・・・・・・・・・ 書記 島津 浩・・・・・・ 19

<専門部活動報告>

・教育情報部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 大木 修・・・・・・ 23

・教育研究部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 中島 啓元・・・・・・ 27

・人事給与対策部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 中村 和雄・・・・・・ 31

・生徒指導部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 高谷 徹・・・・・・ 35

・進路指導部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 関口 治彦・・・・・・ 40

・編集部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 部長 茂木 一弘・・・・・・ 44

<特別委員会報告>

・副読本編集委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 委員長 萩原 孝宣・・・・・・ 45

・体育行事検討委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 委員長 布施 和男・・・・・・ 46

・倫理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 副委員長 蔦村 真也・・・・・・ 47

<地区別中学校長会全体協議会報告>

・中毛地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 編集部員・・・・・・・・・・ 48

・西毛地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 編集部員・・・・・・・・・・ 51

・北毛地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 編集部員・・・・・・・・・・ 54

・東毛地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 編集部員・・・・・・・・・・ 58

第3 7回群馬県中学校長会全体協議会

・開催要項（主題・趣旨・日程）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 教育研究部長 中島 啓元・・・・・・ 61

・教育長講話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 群馬県教育委員会教育長 福島 金夫・・・・・・ 63

・分科会報告

第一分科会 創意工夫に満ちた特色ある教育課程の編成・実施・・・・・・・・・・ 68

第二分科会 「確かな学び」を保証する指導の充実・・・・・・・・・・ 70

第三分科会 特色ある教育活動の充実・・・・・・・・・・ 72

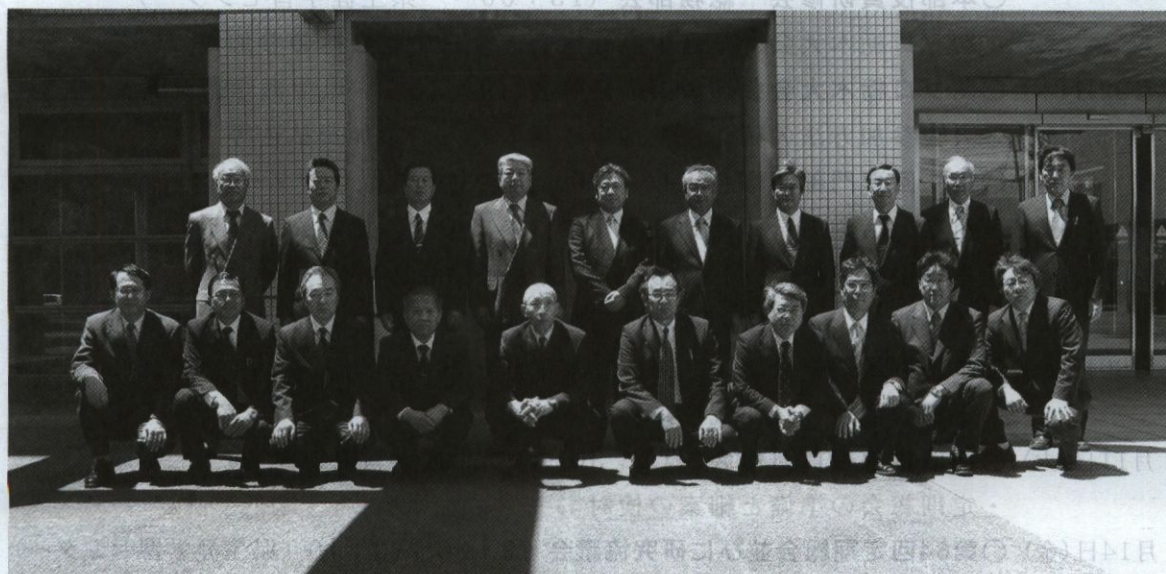
兵庫県教育委員会 教育研究部 教育研究報告

第四分科会 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進・・・・・・・・・・ 74
 第五分科会 健やかな心身をはぐくむ教育の推進・・・・・・・・・・ 76
 第六分科会 社会的な生き方を希求する進路指導の充実・・・・・・・・・・ 78
 第七分科会 教師力の向上を目指した研修の充実・・・・・・・・・・ 80
 第八分科会 時代の要請に応える学校経営の充実・・・・・・・・・・ 82
 資料 教育研究部アンケート・・・・・・・・・・ 84
 <郡市校長会の歩み>・・・・・・・・・・ 88
 <学校めぐり(わが校の特色)>・・・・・・・・・・ 98
 編集後記・・・・・・・・・・ 108

※表紙写真 (呂楽郡・大泉北中)

「綱引き」

※題字 会長 生方徳光



平成21年度 本部・専門部・委員会役員

群馬県中学校長会一年の歩み

4月3日(土) ○本部役員(旧役員)研修会(9:30～ 県生涯学習センター)

4月13日(火) ○新旧総務部研修会(9:30～ 県生涯学習センター)

・平成22年度役員委嘱について

・第1回理事・評議員会に向けた準備

○本部役員研修会(13:00～ 県生涯学習センター)

・第1回理事・評議員会の運営について

4月14日(水) ○第1回理事・評議員研修会(9:30～ 県生涯学習センター)

・新年度各部組織及び役員の報告と承認、退会者の報告

・前年度事業報告、決算報告の承認

・本年度活動方針案、事業計画案、予算案、規約等の審議

会 長 生方 徳光(前 橋・東中)

副 会 長 布施 和男(伊勢崎・境北中) 秋山 順(高 崎・並榎中)

蔦村 真也(中之条・中之条中) 春山治三郎(館 林・第一中)

総務部長 中村 洋(前 橋・第六中)

書 記 立見 康彦(前 橋・宮城中) 島津 浩(前 橋・粕川中)

会 計 鹿沼 初男(前 橋・第二中) 山田 和豊(前 橋・第三中)

監 査 鈴木 達也(高 崎・吉井中央中) 小野塚則幸(中之条・六合中)

伊東 澄夫(太 田・休泊中)

教育情報部長 大木 修(前 橋・荒砥中) 教育研究部長 中島 啓元(伊勢崎・境西中)

人事給与対策部長 中村 和雄(前 橋・第四中) 生徒指導部長 高谷 徹(高 崎・寺尾中)

進路指導部長 関口 治彦(桐 生・梅田中) 編集部長 茂木 一弘(吾 妻・長野原東中)

あかるい学級
編集委員長 萩原 孝宣(太 田・尾島中) 体育行事等
検討委員長 布施 和男(伊勢崎・境北中)

倫理委員会
委員長 蔦村 真也(中之条・中之条中)

○本部役員研修会・総務部会(13:00～ 県生涯学習センター)

・関プロ栃木大会、全日中高知大会、全日中総会への参加について

4月22日(木) ○関プロ栃木大会参加者事前研修会(9:30～ 県生涯学習センター)

・大会参加方法の確認、参加申込書の記入、参加費払込等

○第1回専門部研修会(10:30～ 県生涯学習センター)

・組織、活動方針、活動計画等について検討、協議

○本部役員研修会(13:00～ 県生涯学習センター)

・各専門部、委員会の本年度活動計画等についての確認、総会準備

4月30日(金) ○本部役員研修会(9:30～ 県生涯学習センター)

・定期総会並びに研究協議会細案検討

5月11日(火) ○新旧本部役員研修会(13:30～ 県生涯学習センター)

・定期総会の準備と細案の検討

5月14日(金) ○第64回定期総会並びに研究協議会(9:30～12:10 県生涯学習センター)

・平成21年度事業報告、決算報告

・平成22年度役員選出、活動方針、事業計画、予算案等の審議